

令和2年度 東国文化自由研究レポート



研究テーマ

都市伝説でもいい!
東夷倭国の都は群馬だ!

提出日 令和2年8月24日



伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校

1年 1組 12番

氏名 小暮火燈侍

■テーマ：都市伝説でもいい！東夷倭国の都は群馬だ！

■調査の動機や目的：

「都市伝説じゃないの？」と言われても、私はそう思いたい。

母の知人の歴史研究者K氏から、『東夷倭国の都は群馬だ！』と言われ、大変興奮した。もしかしたら、群馬県には、まだまだ隠れた素晴らしい歴史や文化が、たくさん眠っているのかもしれない。この夏休みに群馬県立歴史博物館で国宝になった『綿貫観音山古墳出土品』の見学に行った。やっぱり、群馬にはすごいものがあると直観した。

1108年の浅間山の大噴火の災害で、群馬県の歴史・文化財の建物、住民の多くが、灰の下に埋まってしまい、私の住む伊勢崎市でも30cmの火山灰が降ったと祖父から聞いている。

今、遺跡発掘が進む中、群馬県の栄華を示す貴重な遺跡がだんだん増えてきていることを嬉しく思う。

そこで、上記のテーマをあげ、家族や知人から聞いた話、そして歴史博物館や古墳などで学んだことを照らしあわせながら、テーマの確実性を追求してみたいと思う。

■なぜ、「東夷倭国の都は群馬だ！」と思ったのか？

K氏から聞いた話を元に、家族でいろいろと話をし、大きく以下①～⑤について考えた。そうすると、赤城山と榛名山の南麓の地域に都があったと考えてよいのでは？と思えるようになってきた。

K氏は、富士文献、旧事本紀に記載されていると言っていた。私は、群馬から出土した遺跡や、地元の歴史書などを用いて、以下①～⑤がどのくらゐ真実と近いのか、調べてみた。

- ① 日本は2つに分かれていた！？
- ② 群馬県に天皇が住んでいた！？
- ③ 聖徳太子は、実は前橋生まれ！？
- ④ 魏からもたらされた「茶の木」の苗が前橋に！？日本最古の茶の木！？

◇①日本は2つに分かれていた！？

「古墳時代頃、日本は2つに分かれていた。」と聞いて、びっくりしたことを覚えている。本当にそうなのか！？自分なりに調査してみた。

① 一1:地名や史跡の名前で考えた

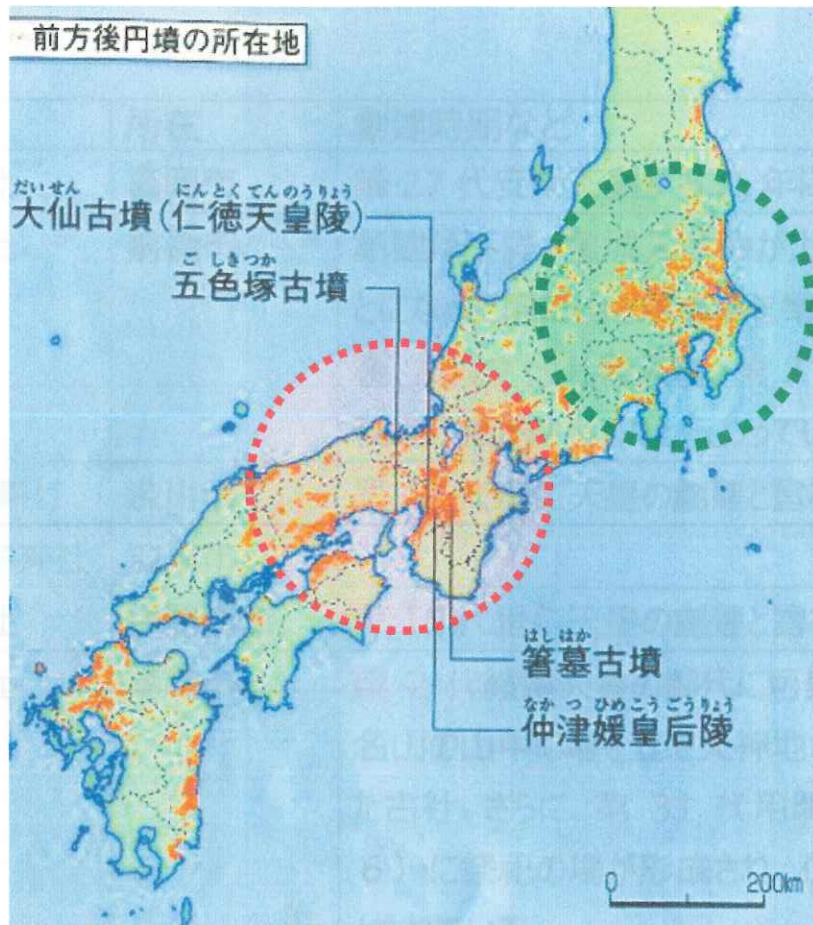
下の図は、K氏から伺った話を図にしたものだ。



| 中国 (大和政権) (渡来人系天皇) | 東夷倭国 (アイヌ系天皇) |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●都の名前は「京」である ・現在の中国の大都市 → 北京、南京、西京(西安) ・西日本の元政治を司ったとされている場所 → 藤原京、長岡京、平城京、平安京 ●高松塚古墳と中国のXX古墳から同じ壁画が出てきた。 ●大和政権以降の政権が、自分達の都合の良いように、古事記と日本書紀を改ざんし、本当の歴史は違うのだと聞いている。 | <ul style="list-style-type: none"> ●京都市に西国三十三権道があるということは、都はその東にあったと推測できる。 例)京都市にある六角堂は西国三十三所の18番目の霊場 ●伊勢崎市には、「宮子町」「宮前町」「宮古町」「山王町」「豊受区」、太田市に「八王子」、前橋市に「山王町」など、地名から都？宮？があったのではないかと推測できる。 |

② ①-2:古墳の分布から考えた

大きく東日本と西日本に分布があるようにみえることから、昔の日本は2つに分断されていたのかもしれないと推測できる。



◇②群馬県に天皇が住んでいた！？

榛名神社にお参りに行った際、案内に「第 31 代用明天皇によって創建」と記載されていた。その天皇は群馬に住んでいたのかな？という疑問から上野国12社を創建した天皇を調査してみた。

| 神社名 | 所在 | 創建時期など |
|------------|--------|--|
| 一之宮 貫前神社 | 富岡市 | 第 27 代安閑天皇が 531 年に創建 |
| 二之宮 赤城神社 | 前橋市 | 創建は不詳。豊城入彦命が上毛野を支配することになった際に山と沼の霊を奉斎したという。その後、第 19 代允恭天皇、第 31 代用明天皇の時代に社殿が創設したと伝わっている。 |
| 三之宮 伊香保神社 | 渋川市 | 第 11 代垂仁天皇の創建と言われている。 |
| 四之宮 甲波宿禰神社 | 渋川市 | |
| 五之宮 大国神社 | 伊勢崎市 | 第 11 代垂仁天皇の創建と言われている。 |
| 六之宮 榛名神社 | 高崎市 | 第 2 代綏靖天皇の御代に可美真手命父子が榛名山の山中に籬を立て天神地祇くお勧請し創建した古社。さらに、第 31 代用明天皇元年（586）に祭祀の場が形成され、信仰の初源となつたとされている。 |
| 七之宮 小祝神社 | 高崎市 | 創建不詳。芭蕉の句碑がある。 |
| 八之宮 火雷神社 | 佐波郡玉村町 | 第 10 代崇神天皇創建。 |
| 九之宮 倭文神社 | 伊勢崎市 | 第 11 代垂仁天皇に勧請されて創建。 |
| 十之宮 美和神社 | 桐生市 | 第 10 代崇神天皇創建。 |
| 十一之宮 賀茂神社 | 桐生市 | 創建不明だが、第 10 代崇神天皇の時代、息子の豊城入彦命が賀茂神の分霊を勧請したのがはじまりと言われている。 |
| 十二之宮 宇芸神社 | 富岡市 | 天武天皇の時代の創建（667 年）。 |

第 10 代崇神天皇から始まり、第 11 代、第 31 代の天皇が関わった神社が多いことが分かる。もしかしたら、第 11 代垂仁天皇と第 31 代用明天皇をはじめ、その前後の天皇や、関連豪族が群馬に多数住んでいたから、群馬に古墳が多いのではないだろうか！？

◇③聖徳太子は、前橋生まれ？

K氏から聞いた話で一番驚いた。

・聖徳太子は、『厩戸皇子』。前橋市は、『厩橋(うまやばし)』共通して『厩』の感じが入っている。

・前橋市には、聖徳太子祭が10月20日あると聞いている。聖徳太子講という場所があり、聖徳太子の教えの学びの場があると聞いている

・大室古墳群にあるM-4古墳が聖徳太子の墓だとK氏は話していた。

M-4古墳は、3段の円墳のように見えます。



円墳の外に、
◇男性の埴輪 2対
馬の埴輪 2対
馬飼の埴輪 2対
◇女性の埴輪 3対

がある。この2人の男性は双子。要するに、聖徳太子は双子だったから、天皇になれず、摂政として兄が政治、弟は世継ぎをつくったとされているそう。イエス・キリストも双子で馬と関連しているから、何かあるのかもしれない。

女性3人は、橘姫、膳姫、?姫と、K氏は具体的な姫の名前まで知っていた。さらに、聖徳太子(兄)は女瀧城で、聖徳太子(弟)は膳城に住んでおり、兄は2月22日、弟は2月6日同じ月に亡くなっていると。



この馬の埴輪、鈴がたくさん付いている

し、鞍にある模様などからしても、この二人の男性は高貴な方であることが分かります。この大室古墳群から出土されている馬の埴輪は、大阪の四天王寺にある馬の埴輪と同じだと、粕川資料館にあった資料にあった。同じ作者だそうだ。



この3人の女性、両手の位置がずれているのが、おもしろいな？ どうしてなのかな？と思った。

M-4古墳の隣りに、大きなエノキの木があり、ヤドリギがたくさんついていて、K氏によると天皇のお墓の近くに、ヤドリギが多いとのこと。そうだったら、この大室公園には、ヤドリギがついた木がいくつかあるので、大室公園内の古墳群、特に大きい前二子古墳、中二子古墳、後二子古墳などの大規模の古墳は、実は大きな豪族以上のもっと位の高い方の古墳かもしれない。

◇④魏からもたらされた「茶の木」日本最古の茶の木？

K氏は、富士市の方で、聖徳太子が「自宅裏庭に植えた」とされる茶の木が、前橋市にあるはずだと10年近く探していたそうだ。そうすると、西暦600年頃に植えられたとなると相当古い木になる。

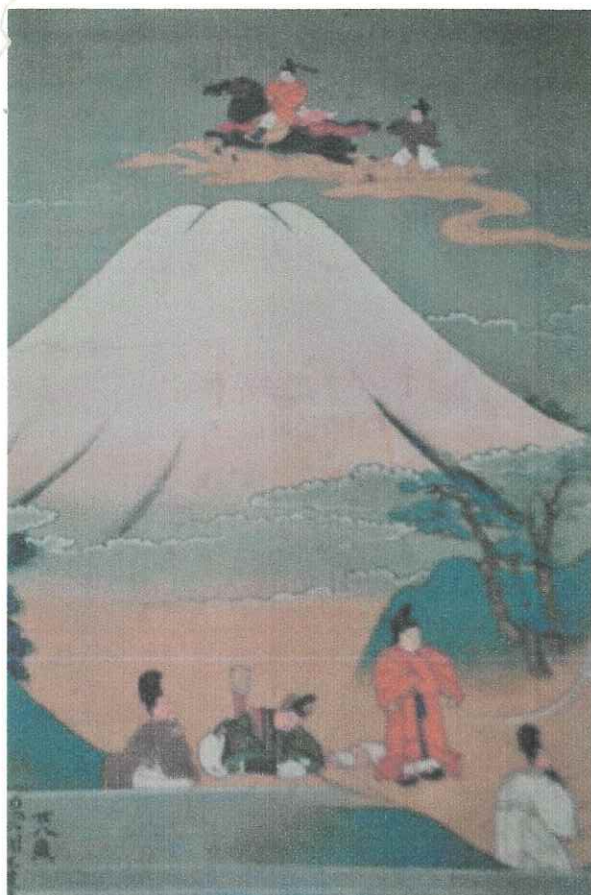
たまたま、祖父と母が参加したK氏によるお話会で知り、なんと私の4代前の祖母の実家があることがわかった。その祖母の実家は、前橋市粕川町にある女淵城に家があり、その裏庭に巨大な茶の木があったそうだ。しかし、女淵城の城壁改修工事の際、邪魔であるとのことで、切られてしまい、その後近くの温泉：元気ランドにしばらく飾られたそうだ。その後、元気ランドの経営者が変わり、茶の木が邪魔だと捨てられるところを地元の造園屋さんが「何かに使えるだろう。」と、カーポートの下で

10 年も鎮座しているとのこと。畳 2 畳分もあるこの茶の木の株を県庁に置いてほしい。とてもすごいものだと思う。



私の 4 代前の祖母の実家は、屋号が「茶の木」。もし、この茶の木が 1000 年以上もの前のものだったら、すごいことになる。

K氏が言うには、中国の船が、利根川を上って、尾島あたりで船を降り、聖徳太子が兄弟で 65 頭の馬を連れて迎えた。その時船に乗っていた三蔵法師を連れて前橋へ。その時の三蔵法師のお土産が、「茶の木」だと。聖徳太子はそれを自宅裏に植えたということが、文献に記載されているそう。その話を母から聞いて、すごいことだと驚いた。確かに、古い茶の木が、前橋市にある。これは事実だ。聖徳太子がいた頃、6 世紀末期頃の伊勢崎市の茶臼山古墳から、唐三彩が見つかったことから、群馬の地には利根川を渡って、大和政権や中国からの大型船が入ってきていたのかもしれない。



1つ納得いかないのが、お札に描かれていた聖徳太子の顔である。同時期の古墳の埴輪の顔を見ても、服装、髪型、同じに見えない。謎だ。左図は、聖徳太子絵伝。下の図は、お札に描かれていたもの。古墳時代～飛鳥時代にそれらの図を想定させるような埴輪は、まだ私は見ていない。



←大室公園に発掘された埴輪の一つ。

■まとめ

群馬には隠れた歴史がたくさんありそうだ。1108年の浅間山の大噴火で、群馬の素晴らしい歴史的建物や文化が喪失してしまった。また、K氏が言うには、今でも北朝系と南朝系の対立が続いていて、群馬県周辺の歴史が表に出ないようにするための、北朝方による因縁がまだあるようだ、不思議なことを言っていた。

今、群馬の歴史が少しずつ表に出てきて、評価されるようになってきた。私は、それがなんだかとっても嬉しい。日本の中心地であったことに誇りを感じるし、昔この地にどんな歴史があったのか、もっと知りたい。都市伝説でもいいから、群馬県はすごい場所だったとして、後付けで事実と紐づけていったらどうなのだろうか？因縁だか、怨念だか分かりませんが、群馬県がスゴイ！と胸を張っていいたい。そのためにも、引き続き、群馬県の歴史好きな家族と一緒に地元の歴史を調べ続けたいと思う。